

# 指導案の書き方

東京書籍

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/list/keikaku.html>

# 生活科学習指導案

指導者  
日 時 平成 年 月 日 校時  
場 所

1. 単元名 ←【年間指導計画作成資料】

2. 単元の目標 ←【年間指導計画作成資料】

3. 単元の評価規準 ←【年間指導計画作成資料】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		

4. 教材観  
その教材がもつ価値を書きます。学習指導要領からその価値を見つけ出すべきなのですが、学習指導要領は全国の学校で使われるように書かれています。様々な解釈ができるようになっていきます。ですから、学習指導要領を元にして作られた教科書から価値を見出します。  
授業によって子どもが何を学ぶことができるのかを書くことが教材観となります。

5. 児童観 【略】  
「児童観」は教材と子どもとの関わりです。  
「その教材についてどれぐらい知っているのか」  
「どれくらいなじんでいるのか」  
「その教材につながる学びがそれまでであるのか」  
そのようなことを書きます。  
また、普段の子どもたちの様子を書く場合もあります。

6. 指導観  
教材研究をして明らかになった教材の価値を、目の前の子どもたちにどのように指導するのかを書きます。  
どのような指導をするのか教師の信念を書きます。

ここは、  
東京書籍のHP  
から

または、  
教科書会社の  
HPから

7. 単元の指導計画（ 時間扱い）本時（ 時） ←【年間指導計画作成資料】

目 標	時数	学習活動	評価規準
指導計画			

8. 本時の学習

(1) 本時の目標 ←【年間指導計画作成資料】

本時の目標

(2) 本時の評価規準 ←【評価計画資料】

本時の評価規準

(知識・技能)  
(思考・判断・表現)  
(主体的に学習に取り組む態度)  
【3つない場合もあり】

(3) 本時の展開

主な発問 (○)	予想される児童の反応 (・)	○指導上の留意点	◇評価の観点と方法	◎手だて
本時の展開				

ここは、  
東京書籍のHP  
から

または、  
教科書会社の  
HPから

(4) 板書計画

板書計画

# 生活科学学習指導案

指導者  
日 時 平成 年 月 日  
場 所

1. 単元名 ← 【年間指導計画作成資料】

2. 単元の目標 ← 【年間指導計画作成資料】

3. 単元の評価規準 ← 【年間指導計画作成資料】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準		

4. 教材観  
その教材がもつ価値を書きます。学習指導要領からその価値を見つけ出すべきなので学習指導要領は全国の...  
授業によって子どもが何を学ぶことができるのかを書くことが教材観となります。

教材観は後で解説

5. 児童観 【略】  
「児童観」は教材と子どもとの関わりです。  
「その教材についてどれぐらい知っているのか」「どれぐらいなじんでいるのか」「その教材につながる学びがそれまでであるのか」そのようなことを書きます。  
また、普段の子どもたちの様子を書く場合もあります。

児童観

6. 指導観  
教材研究をして明らかになった教材の価値を、目の前の子どもたちにどのよう  
指導するのかを書きます。  
どのような指導をするのか教師の信念を

指導観

単元名	いきものと なかよし		教科書のページ	上 p.57~65	
配当時間	6時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(7)
単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとするができるようにする。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。		
目標	時数	学習活動	評価規準		
<b>むしを さがそう</b>					
・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所に気付くとともに、これまでの経験から世話の仕方を想像して世話の仕方を決め、教室で飼育しようとするができるようにする。 p.58~59	3	①校庭に出かけて虫を探したり、観察したりした後、教室に戻って虫を捕まえる計画を立てる。 ②虫を探したり捕まえたりする。 ③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。	【 <b>知技</b> 】校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。 【 <b>思判表</b> 】これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。		
<b>むしと なかよくなるう</b>					
・虫の餌やりなどをしながら、虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をすることで、虫が変化していることや、生命をもっていることに気付き、これからも生き物を大切にしていこうとすることができるようにする。 p.60~61	3	①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 <b>常時活動</b> 朝の時間や休み時間などを使って、餌の用意をしたり、すみかを整えたりして、虫の世話をする。 ②気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 ③虫をこれからどうするか話し合い、元いた場所（捕まえた場所）に帰す。	【 <b>知技</b> 】虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。 【 <b>思判表</b> 】餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。 【 <b>態度</b> 】虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからも生き物を大切にしようとしている。		
<b>みんなで どうぶつを かおう</b>					
・小動物の立場に立って世話の仕方を決めながら、継続的に飼育をし、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。 p.64~65	外	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。	【 <b>知技</b> 】小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。 【 <b>思判表</b> 】小動物の立場に立って世話の仕方を決め、世話をしている。 【 <b>態度</b> 】小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。		

指導計画 ( 時間扱い) 本時 ( 時) ← 【年間指導計画作成資料】

標	時数	学習活動	評価規準
指導計画			

8. 本時の学習

(1) 本時の目標 ← 【年間指導計画作成資料】

本時の目標

(2) 本時の評価規準 ← 【評価計画資料】

本時の評価規準

(知識・技能)  
(思考・判断・表現)  
(主体的に学習に取り組む態度)  
【3つない場合もある】

(3) 本時の展開

主な発問 (○)	予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点	評価の観点

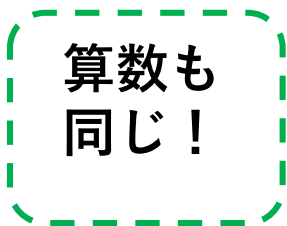
本時の展開

単元名	いきものと なかよし		教科書のページ	上 p.57~65	
配当時間	6時間	活動時期	9月	学習指導要領の内容	(7)
単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとするができるようにする。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。		
目標	時数	学習活動	評価規準		
<b>むしを さがそう</b> ・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所に気付くとともに、これまでの経験から世話の仕方を想像して世話の仕方を決め、教室で飼育しようとするができるようにする。 p.58~59	3	①校庭に出かけ、虫を探したり、観察したりした後、教室に持って虫を捕まえる計画を立てる。 ②虫を探したり捕まえたりする。 ③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。	【 <b>知技</b> 】校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。 【 <b>思判表</b> 】これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。		
<b>むしと なかよくする</b> ・虫の飼育などをしながら、虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をすることで、虫が変化していることや、生命をもっていることに気付き、これからは生き物を大切にしようとするができるようにする。 p.60~61	3	①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 <b>常時活動</b> 朝の時間や休み時間などを使って、餌の用意をしたり、すみかを整えたりして、虫の世話をする。 ②気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 ③虫をこれからどうするか話し合い、元いた場所(捕まえた場所)に帰す。	【 <b>知技</b> 】虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。 【 <b>思判表</b> 】餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。 【 <b>態度</b> 】虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからは生き物を大切にしようとしている。		
<b>みんなで どうぶつを かおう</b> ・小動物の立場に立って世話の仕方を決めながら、継続的に飼育をし、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとするができるようにする。 p.64~65	外	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。	【 <b>知技</b> 】小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。 【 <b>思判表</b> 】小動物の立場に立って世話の仕方を決め、世話をしている。 【 <b>態度</b> 】小動物が生命をもっていることを実感し、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。		

板書計画

単元名	4. 角の大きさの表し方を調べよう [角の大きさ]			教科書の ページ	上 p.56～73
配当時数	9 時間	活動時期	6月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容	B(5)ア(7)(イ)、イ(ア)

単元の目標		角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養い、角を測定した経験を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	角の大きさを回転の大きさとしてとらえることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位(度 $^{\circ}$ )や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。
	思考・判断・表現	図形の角の大きさに着目し、角の大きさや三角形などの図形を考察し、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。



時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 角の大きさ 上p.56～70 7 時間			
1	[プロローグ] 上p.56	①p.56 の図を提示し、角の大きさを比べる活動を通して、角の大きさは正確に表現できないことや辺の長さによらないことなどを確認しながら、辺の開き具合で決まる角の大きさを数で表すという単元の課題を設定する。 (所要時間は 10 分程度)	
	・半直線を回転させると、いろいろな大きさの角ができることを理解する。 上p.57～58	①巻末折り込みの 2 枚の円を組み合わせているいろいろな角をつくり、角の大きさがどのように変わるか調べる。 ②角の大きさを、「直角」を単位にして表す。 * デジタルコンテンツ設定有	[ <b>知技</b> ]半直線の回転を用いて、角の大きさや角のでき方を理解している。 【 <b>観察・ノート</b> 】 【 <b>思判表</b> ]半直線を半回転や 1 回転させたときの角の大きさを、任意の単位「直角」に着目してとらえ、説明している。【 <b>観察・ノート</b> 】
2	・分度器の観察を通して、角の大きさの単位「度 $^{\circ}$ 」を知り、角の大きさの表し方を理解する。 上p.59	①分度器の目盛りの構造を調べる。 ②角度の単位「度 $^{\circ}$ 」と、1 直角 $=90^{\circ}$ の関係を知る。	[ <b>知技</b> ]分度器の観察において分かったことを用いて、角の大きさを表す単位「度 $^{\circ}$ 」や角度、1 直角 $=90^{\circ}$ の関係を理解している。【 <b>観察・ノート</b> 】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
3	・分度器を用いて角の大きさを測定することができる。 上p.60～62	①分度器を使った角度の測定の仕方を知り、いろいろな角度を測定する。 * デジタルコンテンツ設定有	[ <b>知技</b> ]分度器を用いて、いろいろな角度をはかることができる。【 <b>観察・ノート</b> 】
4		① $90^{\circ}$ より小さいか、大きいかを見当をつけてから角度を測定する。 ②三角定規のそれぞれの角度を知る。 ③2 直線が交わってできる向かい合った角の大きさを調べたり、計算したりする。	[ <b>思判表</b> ] $90^{\circ}$ より大きいか小さいかに着目して見当をつけたり、三角定規の角や対頂角の大きさを調べたりして、考えたことを説明している。【 <b>観察・ノート</b> 】
5	[今日の深い学び] ・ $180^{\circ}$ より大きい角度の測定の仕方、既習の分度器を用いた角度の測定の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.63～67	① $180^{\circ}$ より大きい角度の工夫した測定の仕方を考える。 * デジタルコンテンツ設定有 ②友達の間を見て、その考えを式に表したり、説明したりする。 * デジタルコンテンツ設定有	[ <b>思判表</b> ] $180^{\circ}$ や $360^{\circ}$ の角に着目して、図や式から他者が考えた過程を読み取り、式にしたり説明したりしている。【 <b>観察・ノート</b> 】 【 <b>態度</b> ]対話的に粘り強く問題解決に取り組むとともに、 $180^{\circ}$ より大きい角度の測定の仕方考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。【 <b>観察・ノート</b> 】
6	・分度器を使って角をかいたり、三角形をかいたりすることができる。 上p.68～70	①決められた一辺の大きさと 2 つの角から、三角形をかく方法を考える。 ②分度器を使った角のかき方や三角形のかき方を知る。 * デジタルコンテンツ設定有	[ <b>知技</b> ]分度器を用いて角をかいたり、三角形をかいたりすることができる。【 <b>観察・ノート</b> 】 【 <b>思判表</b> ]一辺とその両端の角に着目して、三角形のかき方を考え、説明している。【 <b>観察・ノート</b> 】
7		①いろいろな大きさの角をかく。 ②決められた一辺の大きさと 2 つの角から、三角形をかく練習をする。 ③コンパスを用いて正三角形をかき、3 つの角度を測定し、全て等しく $60^{\circ}$ であることを確認する。	[ <b>知技</b> ]コンパスを用いて、正三角形をかくことができ、その 1 つの角の大きさが全て $60^{\circ}$ であることをとらえることができる。【 <b>観察・ノート</b> 】 【 <b>思判表</b> ] $180^{\circ}$ より大きい角のかき方について、既習の角のかき方に着目して考え、説明している。【 <b>観察・ノート</b> 】

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
まとめ 上p.71～73 2時間			
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">上p.71</p>	<p>【いかしてみよう】</p> <p>①坂道分度器を作り、坂道の角度を測定する。</p>	<p>【<b>思判表</b>】学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。</p> <p>【<b>観察・ノート</b>】</p> <p>【<b>態度</b>】学習内容を生活に生かそうとしている。【<b>観察・ノート</b>】</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。</li> </ul> <p style="text-align: center;">上p.72～73</p>	<p>①「たしかめよう」に取り組む。</p> <p>②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。</p>	<p>【<b>知技</b>】基本的な問題を解決することができる。【<b>観察・ノート</b>】</p> <p>【<b>思判表</b>】数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。【<b>観察・ノート</b>】</p> <p>【<b>態度</b>】単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしていたりしている。【<b>観察・ノート</b>】</p>

# 算数科学習指導案

指導者  
日 時 平成 年 月 日 校時  
場 所

## 1. 単元名 角の大きさの表し方を調べよう [角の大きさ]

### 2. 単元の目標

角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養い、角を測定した経験を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

### 3. 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
角の大きさを回転の大きさとしてとらえることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位（度（°））や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。	図形の角の大きさに着目し、角の大きさや三角形などの図形を考察し、説明している。	分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

### 4. 教材観 **B(5)ア(7)(イ)、イ(7)**

本単元は、算数科学習指導要領内容 B(5) 「角の大きさに関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 角の大きさを回転の大きさとして捉えること。

(イ) 角の大きさの単位（度（°））について知り、角の大きさを測定すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりすること。

を受け設定したものである。・・・・・・・・・・・・・・・・

## 5. 児童観 【略】

## 6. 指導観

## 7. 単元の指導計画（9時間扱い）本時（8時）

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
(1) 角の大きさ 上p.56～70 7時間			
1	〔プロローグ〕  上p.56	①p.56 の図を提示し、角の大きさを比べる活動を通して、角の大きさは正確に表現できないことや辺の長さによらないことなどを確認しながら、辺の開き具合で決まる角の大きさを数で表すという単元の課題を設定する。  (所要時間は10分程度)	
	・半直線を回転させると、いろいろな大きさの角ができることを理解する。  上p.57～58	①巻末折り込みの2枚の円を組み合わせているいろいろな角をつくり、角の大きさがどのように変わるか調べる。 ②角の大きさを、「直角」を単位にして表す。 <b>* デジタルコンテンツ設定有</b>	<b>【知技】</b> 半直線の回転を用いて、角の大きさや角のでき方を理解している。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【思判表】</b> 半直線を半回転や1回転させたときの角の大きさを、任意の単位「直角」に着目してとらえ、説明している。 <b>【観察・ノート】</b>
2	・分度器の観察を通して、角の大きさの単位「度（°）」を知り、角の大きさの表し方を理解する。  上p.59	①分度器の目盛りの構造を調べる。 ②角度の単位「度（°）」と、1直角=90° の関係を知る。	<b>【知技】</b> 分度器の観察において分かったことを用いて、角の大きさを表す単位「度（°）」や角度、1直角=90° の関係を理解している。 <b>【観察・ノート】</b>
3	・分度器を用いて角の大きさを測定することができる。  上p.60～62	①分度器を使った角度の測定の仕方を知り、いろいろな角度を測定する。 <b>* デジタルコンテンツ設定有</b>	<b>【知技】</b> 分度器を用いて、いろいろな角度をはかることができる。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【思判表】</b> 90° より大きい小さいかに着目して見当をつけたり、三角定規の角や対頂角の大きさを調べたりして、考えたことを説明している。 <b>【観察・ノート】</b>
4		①90° より小さいか、大きいのかの見当をつけてから角度を測定する。 ②三角定規のそれぞれの角度を知る。 ③2直線が交わってできる向かい合った角の大きさを調べたり、計算したりする。	



時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
5	[今日の深い学び] ・180°より大きい角度の測定の仕方を、既習の分度器を用いた角度の測定の仕方を基に考え、説明することができる。 上p.63～67	①180°より大きい角度の工夫した測定の仕方を考える。 *デジタルコンテンツ設定有 ②友達の間を見て、その考えを式に表したり、説明したりする。 *デジタルコンテンツ設定有	<b>【思判表】</b> 180°や360°の角に着目して、図や式から他者が考えた過程を読み取り、式にしたり説明したりしている。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【態度】</b> 対話的に粘り強く問題解決に取り組むとともに、180°より大きい角度の測定の仕方を考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。 <b>【観察・ノート】</b>
6	・分度器を使って角をかくたり、三角形をかくことができる。 上p.68～70	①決められた一辺の大きさと2つの角から、三角形をかく方法を考える。 ②分度器を使った角のかき方や三角形のかき方を知る。 *デジタルコンテンツ設定有	<b>【知技】</b> 分度器を用いて角をかくたり、三角形をかくことができる。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【思判表】</b> 一辺とその両端の角に着目して、三角形のかき方を考え、説明している。 <b>【観察・ノート】</b>
7		①いろいろな大きさの角をかく。 ②決められた一辺の大きさと2つの角から、三角形をかく練習をする。 ③コンパスを用いて正三角形をかき、3つの角度を測定し、全て等しく60°であることを確認する。	<b>【知技】</b> コンパスを用いて、正三角形をかくことができ、その1つの角の大きさが全て60°であることをとらえることができる。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【思判表】</b> 180°より大きい角のかき方について、既習の角のかき方に着目して考え、説明している。 <b>【観察・ノート】</b>
まとめ 上p.71～73 2時間			
8	・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 上p.71	[いかしてみよう] ①坂道分度器を作り、坂道の角度を測定する。	<b>【思判表】</b> 学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【態度】</b> 学習内容を生活に生かそうとしている。 <b>【観察・ノート】</b>

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
9	・学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 上p.72～73	①「たしかめよう」に取り組む。 ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。	<b>【知技】</b> 基本的な問題を解決することができる。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【思判表】</b> 数学的な着眼点と考察の対象を明らかにしながら、単元の学習を整理している。 <b>【観察・ノート】</b> <b>【態度】</b> 単元の学習を振り返り、価値づけたり、今後の学習に生かそうとしたりしている。 <b>【観察・ノート】</b>

#### 8. 本時の学習

##### (1) 本時の目標

- ・単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。

##### (2) 本時の評価規準

**【思判表】**学習内容を適切に活用して筋道立てて考え、問題を解決している。**【観察・ノート】**

**【態度】**学習内容を生活に生かそうとしている。**【観察・ノート】**

##### (3) 本時の展開

主な発問 (○)	予想される児童の反応 (・)	○指導上の留意点	◇評価の観点と方法	◎手だて

--	--	--

(4) 板書計画

--

# 教材観の書き方

## 指導案の書き方

### (1) 教材観

#### 【記述する内容】

- 本単元・題材（教材）の特徴
- 取り上げた理由や、学習を進める上で中心となる事柄
- 日常生活との関連性
- この学習の後にどのような力をつけることが期待できるか等

### (2) 児童観

#### 【記述する内容】

- （グループの場合は）グループの実態
- コミュニケーションの実態
- 本単元・題材（教材）に関連した自立活動の実態及び配慮点（発音・聴覚活用・言語等）
- 本単元・題材（教材）に関連した学習の内容や定着度
- 本単元・題材（教材）についての興味・関心・意欲の程度及び生活体験上の予備知識
- 本単元・題材（教材）の目標から見た現状や課題

### (3) 指導観

#### 【記述する内容】

- 上記の（1）（2）を踏まえて、この学習内容を、この実態の児童生徒に、どのように指導していくかを記入する。
- 指導の留意点も記入する。
- 主体性を引き出す手立ても含めて記入する。



第1学年 生活科学学習指導案

日時 平成28年10月5日（水） 第5校時

児童 1年生 男子17名 女子4名

1 単元名 むしとあそぼう

2 単元について

#### (1) 教材観

本単元は、生活科学学習指導要領内容（7）「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受け設定したものである。児童が自らの手で継続的に虫を飼う活動を通して、身近な生き物に興味を持ち、それが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、大単元では動植物を大切にすることができるようにすることを目指している。本単元では、虫を飼った後、学習した内容を思い出して整理したり、もっと詳しく知りたいことを調べたりして紹介し合う活動を行うことで、表現力、思考力、判断力、課題追求力を伸ばすことができる。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、多くの児童は遊具やボール等で遊ぶことに夢中で、周りの自然に関わって遊ぶ姿はあまり見られない。放課後は、学校内外にゲームを持って集まり遊んでいる姿をよく見かける。自然と関わる経験が少なく、自分から自然に親しむ楽しみに気付いていない。また、自然環境が少なくなっている環境の中で、日常的に生き物と関わっている児童は少ない。秋になり、サツマイモ畑の草取りの際に見つけた虫に興味を持つ児童が増えている。しかし、虫などの生き物を飼育する活動を行ったことがない児童がほとんどで、虫を見つけても触ることができなくて逃げてしまう児童も数名いる。これまでの生活科の学習では、学校内外にある植物や施設、人には積極的にかかわってきたが、虫などの生き物に目を向けるのは本単元が初めてである。

#### (3) 指導観

指導にあたっては、学級園や校庭で身近な虫を見つけて捕獲し、継続的に観察や世話をすることで、親しみをもち、虫に関わり、虫も生命をもっていることや活動の中で自分も成長していることに気付かせたい。そのために、草がのびたサツマイモ畑の草取りをさせることで、秋の虫との接点を作り、虫の捕獲・飼育活動へと進めていく。虫が息息する場所や捕獲の仕方など自分なりに調べて虫探しをさせる。虫が苦手な児童もいるので、小グループで虫を捕まえるようにする。虫が好きな児童に虫を捕まえてもらい、観察させ、徐々に慣れさせていく。自分たちで捕獲し、育てると決めた一匹の虫の生命が長らえるように、調べたり人に聞いたりして試行錯誤をしながら世話をさせる。観察の場面では、虫の動き方や体の特徴等児童のすなおな気付きを大切に、身体表現や絵、文章で表せるよう助言し、みんなに伝え合う活動を仕組む。虫との関わりを楽しみながら深めていき、普段の児童の生活からは想定できない虫たちの生き方の気づきや、世話をすることができた自分自身への気づきなど、より質の高い気づきや生命の大切さの実感へと繋げたい。

# 教材観の書き方

第1学年 生活科学学習指導案

日時 平成28年10月5日(水) 第5校時

児童 1年生 男子17名 女子4名

1 単元名 むしとあそぼう

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、生活科学学習指導要領内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受け設定したものである。児童が自らの手で継続的に虫を飼う活動を通して、身近な生き物に興味を持ち、それが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、大単元では動植物を大切にすることができるようにすることを目標とする。単元では、虫を飼った後、学習した内容を思い出して整理したり、もっと詳しく調べたりして紹介し合う活動を行うことで、表現力、思考力、判断力、課題追求力を伸ばすことができる。

## ② 学習指導要領の内容(P43) をさがして

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

教科書のページ	上 p.57~65
学習指導要領の内容	(7)

単元名	いきものと なかよし	教科書のページ	上 p.57~65
配当時数	6時間	活動時期	9月
学習指導要領の内容	(7)		
単元の目標	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、それらは生命をもっていることに気付くとともに、動物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にしようとするができるようにする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、身近な動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	身近な動物を探したり飼ったりする活動を通して、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。
目標	時数	学習活動	評価規準
むしを さがそう			
・校庭の草むらなどで虫を探し、それらの特徴や育つ場所に気付くとともに、これまでの経験から世話の仕方を想像して世話の仕方を決め、教室で飼育しようとするができるようにする。 p.58~59	3	①校庭に出かけて虫を探したり、観察したりした後、教室に戻って虫を捕まえる計画を立てる。 ②虫を探したり捕まえたりする。 ③捕まえた虫を友達と見せ合い、捕まえた場所や捕まえ方、虫の様子などを記録カードにかき、今後の育て方について話し合う。	<b>[知技]</b> 校庭の虫の特徴や育つ場所に気付いている。 <b>[思判表]</b> これまでの経験から世話の仕方を想像し、世話の仕方を決めている。
むしと なかよく なるう			
・虫の餌やりなどをしながら、虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をすることで、虫が変	3	①より適切な虫の飼い方を調べ、飼育環境を整える。 ②気付いたことを記録カードにかき、友達と伝え合う。 ③虫をこれからどうするか話し合い、元いた場所(捕まえた場所)に帰す。	<b>[知技]</b> 虫が変化していることや、生命をもっていることに気付いている。 <b>[思判表]</b> 餌やりや掃除などをしながら虫の様子を観察し、虫に合わせた世話をしている。 <b>[態度]</b> 虫の様子に応じて世話の仕方を変えることの大切さを実感し、これからは生き物を大切にしようとしている。
いこうとすることができるようにする。 p.60~61			
みんなで どうぶつを かおう			
・小動物の立場に立って世話の仕方を決めながら、継続的に飼育をし、それらが生命を	外	・各学校の実態に応じて、一定期間、飼育環境を整えて動物を飼育し、観察する。	<b>[知技]</b> 小動物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。

## ① 年間指導計画作成資料から

1 単元名 まちたんけん (2)

2 単元について

(1) 教材観

学習指導要領の第2各学年の学習指導要領の**指導内容**(3)は「自分たちの生活は地域の人々やさまざまな場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」ことを指導するように示されている。また**指導計画の作成と各学年にわたる内容の取り扱い**では1(2)「自分と地域の人々、社会及び自然とのかかわりが具体的に把握できるような学習活動を行うこととし、校外での活動を積極的に取り入れること。」とあり、児童が身近な生活圏である地域に出て、さまざまな場所とかかわったり人と接したりする中で、それらが自分の生活とかかわっていることが分かり、地域に親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようになることを目指している。

その中でも、特に人とのかかわりは重要な要素である。身近な地域で出会った人々との会話や様々な交流を通して、子どもたちは、地域をよみかき、あのお店に買い物に行こう。「またあのお店の人と話したいな」などと、地域に親しみを持ち、人々と適切に接することができるようになる。また地域の人々への思いは、活動すればすぐ生み出されてくるものではなく、何度も繰り返し交流していくことによって、地域の人への思いが次第に醸成されていくものである。本単元では具体的な活動を通して地域の人々や場所に対するそれぞれの児童の親しみの気持ちや、愛着をさらに深めていくことを目標とする。

旧の(3)

② 学習指導要領の内容(P33) をさがして 新の(3)

(3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

年間指導計画作成資料

教科書のページ	下 p.71~80
学習指導要領の内容	(3)

単元名	もっと なかよし まちたんけん		教科書のページ	下 p.71~80	
配当時数	12 時間	活動時期	10~11 月	学習指導要領の内容	(3)
単元の目標	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするようにする。				
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。		
目標	時数	学習活動	評価規準		
たんけんの 計画を立てよう					
・地域の人や場所と関わりたいという思いをもち、地域に探検に行き実現できそうなことを予想しながら探検する場所や調べることを決め、探検の計画を立てようとするようにする。	2	① 探検に行きたい場所や話したい人、聞きたいことなどについて話し合い、探検先ごとのグループをつくる。 ② グループごとに探検場所や聞きたいこと、コースや持ち物などを、探検の計画を立て、計画表に記入する。	【思判表】探検に行き実現できそうなことを予想し、探検する場所や調べることを決めている。		
p.72~73					
これまでの経験と関連付けながら、地域の場所や人の役割を探し、地域にある場所には働いている人や生活している人がいることに気付くことができるようにする。	p.74~75	く。 ③ 探検活動を振り返り、気付いたことを記録カードにかく。	【知技】地域にある場所には、働く人や生活している人がいることに気付いている。 【思判表】地域で見付けたことを自分のこれまでの経験と関連付けながら、地域の場所や人の役割を探している。		
見つけた ことを しょうかいしよう					
友達と自分の見つけたことを	④ 探検で見つけたことを、グループで発表し、感想を交換する。	【思判表】友達の見つけたことを聞き、自分と比べてみる。			

本時の授業に  
力を入れましょう！











